

I 概要

【内政】

- 16日 サンティアゴ・ロハス氏の商工観光大臣への任命発表
- 26日 スルアガ元財務・公債大臣のウリベ派大統領選統一候補への選出
- 27日 FARCによる米国人元海兵隊員の人質解放
- 11月1日 サントス大統領に対する支持率29%への回復

【外交】

- 9月30日～4日 ピンソン国防大臣の中米・カリブ諸国訪問
- 7日～11日 カルデナス駐日大使の水俣条約外交会議への出席（於：熊本，水俣）
- 16日 ハウア・ベネズエラ外相の当国訪問
- 16～17日 サボヤ・アンドラ公国外相の当国公式訪問
- 18日～19日 サントス大統領及びオルギン外相の第23回イベロアメリカ・サミット及び関連会合出席（於：パナマ）
- 25日 モラレス外務次官（マルチ担当）及びカンデラ商工省次官の第11回太平洋同盟高級実務者会合出席（於：メキシコ）
- 24～27日 オルギン外相のモロッコ公式訪問
- 28～31日 オルギン外相のアルジェリア公式訪問

II 本文

【内政】

1 新商工観光大臣の任命

16日、サントス大統領は、既に辞表を提出していたディアス・グラナドス商工観光大臣の後任としてサンティアゴ・ロハス氏を任命すると発表した。ロハス氏は、コロンビア貿易銀行（BANCOLDEX）頭取であったが、過去には国税・関税庁（DIAN）長官、貿易省次官、コロンビア貿易庁（INCOMEX）長官を歴任している。

2 ウリベ派大統領選統一候補の選出

25日及び26日に開催された、ウリベ民主中道運動の党大会において、大統領選に向けた党内統一候補を選定するための投票が行われた。1340名の投票資格者のうち、56%の得票により、オスカル・イバン・スルアガ（Oscar Ivan Zuluaga）元財務・公債大臣が党内候補に選出された。同元財務・公債大臣は、ウリベ前大統領に最も考え方が近かったため、多くの支持を得られたものとみられる。スルアガ元財務・公債大臣はFARCとの和平交渉を終了すべき旨発言している。

3 FARCによる米国人元海兵隊員の人質解放

27日、FARCがグアビアレ県において誘拐していた米国人で元海兵隊員のKevin Scott Sutay氏が国軍及び国際赤十字委員会のオペレーションによって解放された。同氏は、本年6月20日に誘拐されてからFARC第1戦線の影響下にあった。同氏の解放を受けて、ケリー米務長官は「コロンビア政府に深謝するとともに、人質解放へのたゆまない努力を賞賛する。特にサントス大統領のご協力に感謝する」旨謝意を表明した。本件オペレーションには、国際赤十字委員会に加え、ハバナにおけるコロンビア政府とFARCとの和平交渉に保証人として参加しているノルウェー及びキューバ両国関係者も参加した。

4 サントス大統領に対する支持率

11月1日に発表された（18～27日に実施）ギャロップ社の世論調査では、サントス大統領に対する支持率は、29%（8月時点では21%）となり、支持率がわずかに回復した。

【外交】

1 ピンソン国防大臣の中米・カリブ諸国訪問

9月30日から4日にかけて、ピンソン国防大臣は、中米及びカリブ諸国を訪問し、技術協力等につき協議した。具体的には、9月30日にパナマ、1日にエルサルバドル、2日にグアテマラ及びジャマイカ、3日にドミニカ共和国、4日にトリニダード・トバゴ及びハイチを訪問した。なお、2日のグアテマラ訪問時に、グアテマラのロペス国防大臣との間で、海洋協力に関する協定に署名した。

2 カルデナス駐日大使の水俣条約外交会議への出席

7日～11日、熊本市及び水俣市で開催された水俣に関する水俣条約外交会議にカルデナス駐日大使が出席し、同条約に署名した。

3 ハウア・ベネズエラ外相の当国訪問

16日、ハウア外相を団長とするベネズエラの閣僚級代表団が当国を訪問し、オルギン外相等と閣僚級委員会会合を開催した。同会合においては、両国間の石油パイプラインの建設、石油開発の合弁企業の可能性等につき協議された。

4 サボヤ・アンドラ公国外相の当国公式訪問

16～17日、サボヤ・アンドラ公国外相が、当国を公式訪問し、オルギン外相と会談し観光協力等につき協議したほか、当国企業関係者や観光業界関係者とも会談した。

5 サントス大統領及びオルギン外相の第23回イベロアメリカ・サミット出席

18日～19日、パナマにて第23回イベロアメリカ・サミット及び関連会合が開催され、オルギン外相は外相会合に出席したほか、マシェッテ・ポルトガル外相、マッカーリー・ニ

ュージーランド外相、フィゲイレド・ブラジル外相と会談した。また、第9回イペロアメリカ経営者セミナーにおける太平洋同盟の未来についてのパネルディスカッションに参加した。

19日、サントス大統領は同サミットに出席し、和平交渉に対する各国の支援に謝意を表明したほか、Asjesキュラソー首相と会談した。

6 モラレス外務次官等の第11回太平洋同盟高級実務者会合出席

25日、メキシコで開催された第11回太平洋同盟高級実務者会合において、モラレス外務次官（マルチ担当）及びカンデラ商工省次官が議長を務め、オブザーバー国との関係を調整する専門部会の大枠の機能につき承認するなどした。

7 オルギン外相のモロッコ公式訪問

24～27日、オルギン外相は、モロッコを公式訪問し、コロンビアの駐中東・アフリカ大使との会議に出席した。また、メズアール・モロッコ外相と会談し、治安対策での協力等につき協議したほか、両国の外交官学校間の協力に関する覚書に署名した。

8 オルギン外相のアルジェリア公式訪問

28～31日、オルギン外相は、アルジェリアを公式訪問し、セラル首相及びラマムラ外相と会談し、両国間の政策協議を開始する覚書及び両国の外交官学校間の協力に関する覚書に署名したほか、外交・公用旅券の相互査証免除の交換公文にも署名した。

(了)